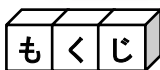


京都あぐい便り



近畿農政局京都府拠点
発行: 令和6年8月26日

写真: 綾部市「かぼちゃの花」



P 1…令和5年度食料自給率・食料自給力指標について

P 2…現場だより「廃校を活用した地域活性化の取組みでイチゴ摘み取り園開設!!」井上株式会社（福知山市）

P 3…現場だより「人とつながり、楽しみながら野菜を育てる」くろねこファーム 長谷川 和彦さん（亀岡市）

P 4…「ノウフク・アワード2024」募集中! / ~最近の各種統計情報の公表について~

令和5年度食料自給率・食料自給力指標について

農林水産省は、令和5年度食料自給率及び食料自給力指標について、以下のとおり公表します。

【目的】

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。我が国の食料の国内生産及び消費の動向を把握するため、毎年公表しています。

食料自給力指標とは、国内生産のみでどれだけの食料を最大限生産することが可能かを試算した指標です。我が国の食料の潜在生産能力の動向を把握するため、平成27年から公表しています。

【令和5年度の結果】

(1) 食料自給率

○カロリーベース食料自給率 前年度並みの38%
○飼料自給率 前年度比+1ポイントの27%

○生産額ベース食料自給率
前年度比+3ポイントの61%

(2) 食料自給力指標

米・小麦中心の作付け : 1,752kcal (令和4年度:1,736kcal)
いも類中心の作付け : 2,362kcal (令和4年度:2,386kcal)



【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ウェブサイト

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/240808.html>

「食料自給率・食料自給力について」農林水産省ウェブサイト

https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/011_2.html

【お問い合わせ先】

農林水産省 大臣官房政策課食料安全保障室 担当者: 井坂、柿川、河合
代表: 03-3502-8111 (内線3807) ダイヤルイン: 03-6744-0487



現場だより



廃校を活用した地域活性化の取組みでイチゴ摘み取り園開設！！

井上株式会社（福知山市）

井上株式会社の農業拠点「THE610BASE（ムトベース）」を訪問し、リーダーの森翔平さんにお話を伺いました。（取材：2024年6月）



旧中六人部小学校をリノベーションした農業拠点THE610BASE

他業種からの農業参入

井上株式会社は京都府福知山市で、1947年に電気工事材料卸売業として創業。現在は電気設備・IT関連事業を展開しています。

地域密着企業として福知山市の課題解決に貢献できる新規事業として農業参入に取組み、福知山市から旧中六人部小学校を借り受けリノベーションを行い、体験型農業施設「THE610BASE（ムトベース）」として2020年より運営しています。

合言葉は「FUNMER（ファンマー）」

THE610BASEの合言葉は「FUN（楽しい）」と「FARMER（農業者）」を組み合わせた「FUNMER（ファンマー）」。農業自体を楽しむコンテンツにしようと考えた造語です。

旧校庭を活用したイチゴ摘み取り園を開設し、加工品としてイチゴジャムを製造しています。

また、醸造所でのクラフトビールの製造・販売のほか、カフェや各種イベント等にも取り組んでいます。



上段右端が森さん



イチゴ摘み取り園の施設内部

いちご摘み取り園の取組み

いちご摘み取り園のハウスでは温度・湿度・CO₂等の状況をIoT技術で常時監視し安定した生産を行っています。

栽培品種は章姫（あきひめ）、かおり野、紅ほっぺの3品種で、合わせて約1万4,000株の苗を植えています。また、摘み取り園には、福知山市や周辺市町から年間5,000～6,000人が来園されます。

地域と協力した取組みへ

今年、旧校舎内にビール醸造所が完成し、地元生産者と共同で栽培した大麦とホップを使いクラフトビールの製造を開始しました。

今後は、地域の協力を得ながら農福連携にも取組み、THE610BASEが地域の拠点となるような場所にしていきたいと語っていただきました。

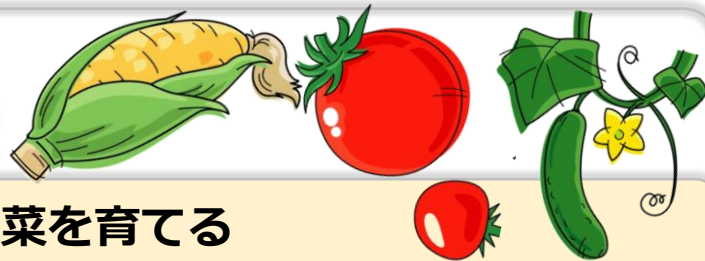


地元の大麦・ホップを活用するクラフトビール醸造所



THE 610 BASE (<https://fields-the-base.jp/>)

現場だより



人とつながり、楽しみながら野菜を育てる

くろねこファーム（亀岡市）

亀岡市で新規就農された「くろねこファーム」長谷川 和彦さんにお話を伺いました。
（取材：2024年7月）



長谷川和彦さん
（農産物直売所佐伯の里店内にて）

新規就農までの歩み

幼少のころから野菜を育て収穫することに関心があったため、京都府立農業大学校で農業の基本を学ばれましたが、就農はせず、農業に関わりのある業種として農業資材を販売する会社に入社されました。

40歳になる前に、農業への転職を決意し、4年間の農業経験を経て、亀岡市で就農されました。

就農するまでには、いろいろな人に相談し、繋がることで農地や販路の確保、経営改善計画の認定など数々のハードルを乗り越えられたそうです。

収穫の喜びを感じる日々

収穫した農作物は、近隣の直売所やJAの直売所に毎日出荷されています。

少量多品目で、夏季は、ナス・オクラ・トウモロコシ・ミニトマト・パプリカ等、冬季は、ブロッコリー・キャベツ・白菜・大根等を収穫しています。トウモロコシは昨年に引き続き、アライグマの食害があったため、罠を仕掛けて対応されていました。

日々、栽培技術の研鑽のため、疑問に思ったことを先輩農家に尋ねたり、WEB情報を収集して試行錯誤されているそうです。



直売所にはいつも新鮮な野菜が並びます

視覚障害者に雇用の場を提供したい

視覚障害者との農作業体験を通じ、障害者雇用・支援を真剣に考えるようになりました。

「くろねこファーム」のネーミングの由来は、黒猫は古来から日本では「夜でも目が見える」ことから福猫として親しまれ、縁起の良いものとされていることや施設で視覚障害者とのふれあい経験から黒猫に擬えて名付けたもの。

将来は、就労支援B型事業所を立ち上げ、視覚障害者と共に楽しく農業を続けていくことを目標に取り組まれています。



パプリカやミニトマトなど新たな品目にも挑戦中

「ノウフク・アワード2024」募集中！

～みんなで耕そう！人・地域・未来の豊かな循環～

農林水産省は、農福連携に取り組んでいる優れた事例をノウフク・アワードとして表彰し、その普及を推進しています。このたび優良事例を選定する「ノウフク・アワード2024」に参加いただける取り組みを募集中です。

農林水産業

×

福祉

=

ノウフク

【表彰対象者】

農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等（高齢者や生活困窮者、ひきこもりの状態にある者、犯罪をした者等を含む。）が農林水産分野で能力を発揮することによって、農林水産業と福祉が抱える様々な課題の解決、障害者等の社会参画、地域活性化の実現に貢献している団体等を対象とします。

【募集期間】

令和6年7月26日（金曜日）

～令和6年9月30日（月曜日）

【表彰】

○グランプリ ○準グランプリ

○優秀賞 ○フレッシュ賞、チャレンジ賞

【スケジュール】

審査結果公表・表彰式：令和7年1月頃

※応募方法等詳細につきましては、以下のウェブサイトをご確認ください。

【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」近畿農政局ウェブサイト

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/240726.html>

「ノウフク・アワード2024特設サイト」外部リンク

<https://noufuku.jp/award/award2024/>

【お問い合わせ先】

近畿農政局 農村振興部 都市農村交流課 担当者：楠本、中路

代表：075-451-9161（内線2591、2595）ダイヤルイン：075-414-9065



みんなで耕そう！



～最近の各種統計情報の公表について～

【年計調査】

○8月16日 作物統計調査 令和6年産一番茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）

○7月30日 令和6年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況（7月15日現在）

○7月29日 令和5年生産者の米穀在庫等調査結果

【ウェブサイトアドレス】

「統計情報」農林水産省ウェブサイト

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



お問合せ先：近畿農政局京都府拠点

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町 TEL:075-414-9015

ホームページ：<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html>